

次期ビジョンで推進すべき主な取組案（重点プロジェクト）※実施の可否は要検討

1 農家の所得向上

農業の収益性低下

- ・米をはじめとする農産物販売価格の低迷
- ・肥料・農薬や光熱水費等の高騰
- ・輸入農産物との競合、産地間競争の激化等により、生産拡大が頭打ち

A 佐倉市農産物の付加価値を高める取り組み

- (1) 収益性の高い農産物の生産・販売の強化・・・新品種導入や市場開拓等への支援
- (2) 農産物の品質向上や機能性の強化・・・出荷基準の設定や機能性の発信等を強化
- (3) 付加価値向上を図る6次産業化の取り組みの強化・・・「売れる」加工品・特産品の開発

2 新規就農者の確保と経営支援

農業者の減少
や高齢化

- ・現役世代のリタイアが急ピッチで進展
- ・新規就農者や後継者等、次世代を担う農業者の確保が困難

経営、災害等
のリスク増加

- ・市場優位の構造や輸入農産物の増加等による経営面の不安定要素の拡大
- ・気候変動の激化による災害リスクの増大

A 新規就農者の受け入れ支援

- (1) 農業の担い手に対する支援の充実・・・農地のあっせん、資金調達等について支援
- (2) 新規就農者に対するソフト支援を強化・・・新規就農者同士のネットワーク組織を支援

B 農業経営や災害リスクに対するセーフティネットの強化

- (1) 経営基盤の強化や経営の多角化の推進・・・経営発展のための設備導入等を支援
- (2) 経営・災害リスク等への備えを推進・・・収入保険等への加入促進と掛金負担の軽減

3 生産基盤の充実

生産基盤の整備の
遅れ

- ・農業の競争力強化のための農地条件、生産設備等の整備の遅れ
- ・気象災害の増加に対応した生産基盤、生産設備の強靱化が不可欠
- ・鳥獣被害の増加が新たな営農リスク

A 農業生産基盤の整備と強靱化

- (1) 農業の生産性の向上を加速化・・・農地・農業用施設の改良、スマート農業の導入等
- (2) 気候変動への的確な対応・・・農業用ハウスや農地・農業用施設の強靱化を推進

B 鳥獣害対策等、農作物の生育被害を予防する対策の強化

- (1) 鳥獣害対策等の的確な実施・・・地域ぐるみで地域を守る効果的な対策を推進